



令和5年 7月 21日
発行：二セコ町幼児センター

原体験の大切さ（1）

国内の各地では大雨による被害や35度を超える異常な暑さ等で厳しい毎日が続いている地域があります。北海道は暑い日があっても朝夕は涼しくなるので、まだ過ごしやすいと言えます。ただ暑さに慣れていないために、日中気温が上がると体にこたえる人も多いのではないのでしょうか。体調を崩さないように留意し、短い夏を楽しみたいですね。

さて、幼児期において「原体験」を積むことがその後の成長に大きく影響すると言われています。「原体験」とは五感のうち、触覚・嗅覚・味覚を意識的に体験させることで、具体的には火、石、土、水、木、草、動物等を直接体験することを言います。例えば、「たき火をする」「泥遊びをする」「河原で石を投げる」「雨に濡れて遊ぶ」「木に登る」「動物に触れて遊ぶ」等々。幼児センターで行っている「ジャガイモ掘り（くま組）」、「焼き芋パーティー」や「散歩や遠足の途中で鳥や虫の声を聞く、木や草に触れる」なども原体験だと言えます。自然物や自然現象と触れる原体験は、好奇心や感性、探求する意欲などに関わる脳の鍛錬や成長につながる、という研究発表がされています。また、そのような体験は、時期的に乳児期から小学校低学年が最適だと言われています。自然が豊富な二セコは原体験を積むのに絶好の環境だと言えるでしょう。

短時間のお友達は明日から長い夏休みに入ります。長時間のお友達も家族で過ごす時間がふだんよりも増えるでしょう。周りの大人が支援し見守る中で、子どもたちの貴重な「原体験」をこの夏に少しでも増やしていきたいものですね。

園長 菊地 博

8月の保育目標

- ☆水遊びに必要な決まりを守り夏の遊びを十分に楽しむ。
- ☆活動内容に合わせて水分補給や休息をとりながら健康に過ごす

七夕の集い 7月7日(金)

七夕に向けて、各クラスで短冊や飾りを作りました。七夕の集いではペープサートで七夕のお話を見た後、何人か前に出てもらいお願い事を教えてもらいました。

お願い事

「おひめさまになりたい!」「漢字がよめるようになりたい!」叶うといいですね。





くま組登山 14日(金)

今年は、前日に雨が降ってしまいイワオヌプリには登ることができませんでした。当日は晴れたため、有珠山ロープウェイに乗り、洞爺湖湖畔の公園で遊んでからお弁当を食べて帰ってきました。山頂の展望テラスからはきれいな洞爺湖を見ることができました。



お盆協力保育をご利用の保護者様へ

協力保育期間中は、土曜保育と同様、支援センター（おひさま）での合同保育となります。

- 持ち物**
- ・午睡用タオルは14日または15日に持ってきて使用し、そのまま置いておきます。
 - ・一日分の着替え・お弁当・水筒（水またはお茶）・おしぼり・帽子・エコバック
 - ・1歳児はおやつ用のバナナを用意してください。
 - ・2～5歳児のおやつは通常通りパンなどができます。

この他に、必要なお子さんは、エプロン・オムツ・お尻拭き・ビニール袋を持ってきてください。

0～2歳児は棚に名前がついていますので、登園したら名前のある場所に荷物を入れて、お弁当・水筒・おしぼり・おやつを棚の上に出してください。

3～5歳児は自分で棚またはかごに入れ管理します。

何かわからないことがありましたら、職員にお尋ねください。

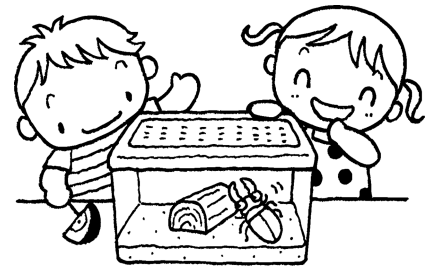
保育が必要ではなくなった場合は、職員の勤務体制の都合がありますので、早めにお知らせください。

水遊びが始まりました



土曜保育についてのお願い

日頃より、幼児センターの土曜保育に協力していただきありがとうございます。
緊急時の連絡先確認のため、土曜保育を、お仕事以外の理由で利用される場合は、事前にご相談くださるようお願いいたします。



時間外保育利用についてのお願い

センターの解錠時間は7時30分、施錠時間は18時30分となっています。
お子さんの身支度の時間を考慮し、降園時は余裕をもった時間のお迎えをお願いいたします。
18時25分までにセンターに来られない場合は必ず連絡してくださいね。
勤務上不都合がある場合はご相談ください。

時間外保育届について

現在4～9月（前期分）の「時間外保育届」を提出していただいております。
10月～3月（後期分）に時間外保育をを希望される方は、8月15日（火）までに
コドモンで申し込みください。

15日を過ぎるとコドモンは利用できませんので、用紙での提出となります。
わからないことがありましたら、事務室佐藤までお尋ねください。

なつやすみを迎えるにあたって



短時間利用児はもうすぐ夏休みに入ります。病気や事故にあわないで、元気で有意義な夏休みとなるよう願っています。

生活について

・早寝早起きの規則正しい生活を崩さないようにしましょう。遅寝遅起きは自律神経に関係し、頭も体にも良いとはいえません。悪い習慣はすぐに身に付きますが、良い習慣には戻りづらいものです。

食事について

・野菜の苦手な子や固いものが苦手な子も、お友だちと一緒に食べる事で少しずつでも食べられるようになりました。家庭でも大好きな家族が「おいしい」といって食べる姿につられて食べるようになる子もいます。たくさん、あそんで空腹感を感じた時にお腹いっぱい食べるというのが理想ですね。

お手伝いについて

・家庭の中でも、お手伝いできる事はたくさんあります。新聞を取ってくる・玄関を掃く・家族の箸を並べる・テーブルを拭くなど、子どもに頼んでみましょう。きっと張り切ってやってくれる事でしょう。「ありがとう」という感謝の言葉を伝えることも忘れずにしましょう。

事故防止について

・外あそびが活発になり、行動範囲も広がってきます。交通ルールを確認し、自転車に乗る時には必ず大人が付き添うようにしましょう。また、知らない人に声を掛けられてもついていけない、子どもだけで花火をしないなども約束しましょう。

※何かありましたら、幼児センター（Tel 44-2700）まで連絡をお願いします。



駐車場ではスライドドアの自動開閉に十分注意しましょう

運転席から反対側のスライドドアを自動開閉させると、十分目が行き届かない場合があります。万がドア付近に小さいお子さんがいた場合、ぶつかる危険がありますので、できるだけドアの前で安全を確認してから開閉するようにご協力お願いします。また、車が混んでいるときはお子さんだけで車から降りることのないようにご配慮をお願いします。